

【企画①】2次英語面接シミュレーション講座開催



フリーダイヤル
0120-825-810

国際医療福祉大 帰国生特別選抜 対策なら一会塾

2021年は入学者**全6名**中
4名が一会塾から合格!



専用テキストで対策を
しっかり行いましょう



↑韓国帰国
体験記(2021
第2回合格)



↑豪帰国
体験記(2021
第1回合格)



↑米国帰国
体験記(2019
62名中1名合格)



【企画②】2023年受験に向けて、2022年12月生募集開始！

※【企画①】2次英語面接シミュレーション開催については次ページへ

詳しくは一会塾(いちえじゅく)
HPをご覧ください(武蔵小杉校・恵比寿校)→



【企画①】2次英語面接シミュレーション講座開催



英語面接



シミュレーション講座

緊急開催決定

1次合格発表は **12/5(月) 15:00**
そのときあわてないようにあらかじめ事前準備しよう！

A：面接シミュレーション（講義編）90分（オンライン対応可）

定員6名

12/8（木）14:50～16:20 武蔵小杉校にて実施
面接で聞かれる必須16項目について回答ポイントを解説！
一会塾が作成した**2次英語面接対策シート**を完成させます。

B：面接シミュレーション（実践編）120分×2回（オンライン対応可）

定員最大6名

下記の日程から2回選択して、**1：1で面接実践練習**を行います！
[a回] 12/8(木) 17:00～19:00 [c回] 12/9(金) 17:00～19:00
[b回] 12/8(木) 19:20～21:20 [d回] 12/9(金) 19:20～21:20

A、Bセット受講の場合 72,600円のところ、69,800円にて受講できます。

こちらの案内見た方限定の割引価格となります（申込締切12/7(水)18:00）

- ・全て武蔵小杉校(品川より10分)にて開催します。恵比寿校での開催予定はありません。
- ・講義編では、一会塾が作成した2次英語面接対策シートを完成させる講座です。
一人ひとりに合わせて循環型個別指導を実施します（使用言語は日本語です）
- ・実践編は、上記（1）～（4）の時間で個別に対策をいたします。英語面接or日本語面接を選択しておひとり原則2回実施となります。お申込み時に希望時間帯を2つお知らせください。

申込方法：**一会塾HPの資料請求画面**
(QRコード→)より、基本情報を入力して、備考欄に
**「国際医療福祉大 帰国生特別選抜 英語面接
シミュレーション希望」**とお書きください。



【企画②】2023年受験に向けて、2022年12月生募集開始！



5名限定募集

国際医療福祉大学

帰国生特別選抜入試対策コース

＜2023年受験に向けて＞

2022年12月19日(月)より開講！

対策コースの概要

＜導入期＞ 個別授業で各教科の基礎力を鍛える（全13週）

＜期間：12月19日（月）～3月18日（土）＞

～毎週4回の**1：1個別授業**を実施～

数学2回、理科2回（2教科各1回）の授業（※1回90分の授業）

※各個人これまでの環境により学習状況がそれぞれに大きく異なります。
受験で最低限必要な基礎を備えるため各個人の状況に合わせた個別授業を
各教科で実施してまいります。主に基本事項を徹底的に確認します。
個別授業は**対面授業**、**オンライン授業**が選べます。

＜実践期＞ 帰国生専用授業で各教科の実践力を鍛える（全18週）

＜期間：3月20日（月）～9月2日（土）＞

～**帰国生クラス授業（定員制）**がスタート～

＜基本コース＞ ※以下より選択して受講可

【数学】数学ⅠAⅡB 180分/週 数学Ⅲ 180分/週

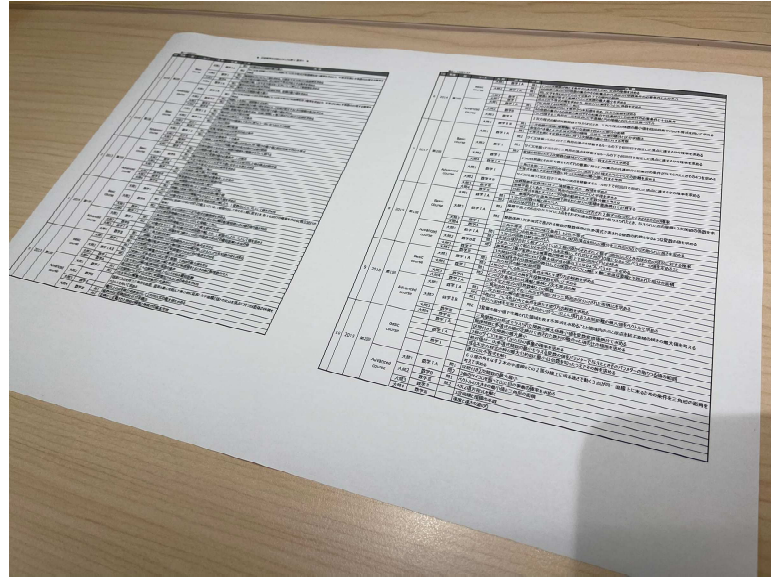
【理科】2教科（化学、生物、物理から選びます）480分/週

【国語】日本語/90分 メディカル小論文/90分

※不安な教科は、**オプション**として**教科個別or面接対策個別**（週1回から）がつけられます。
※コース受講者には一人ひとりに**帰国生特別選抜入試専用テキスト**を
使用した実力テストを各教科2023年6月より実施します。（英語、数学、理科2科目）

【企画②】2023年受験に向けて、2022年12月生募集開始！

1次試験対策の個別指導では**専用のテキスト**を使用して指導してまいります



数学と理科のテキストは、英語 / 日本語 の両言語対応テキストになっています。英語対策テキストは、帰国生枠試験に特化した4択英文法問題と正誤問題を集中的に攻略します。

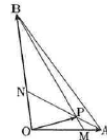
単元別に分析&整理されており、弱点を集中的に補うことが可能です（↑数学）



<英語>

III

Consider a triangle OAB. We denote by M the point dividing the side OA internally in the ratio 3 : 1 and denote by N the point dividing the side OB internally in the ratio 1 : 2. Also we denote by P the point of intersection of the line segment AN and the line segment BM.



(1) When the vectors \vec{OA} and \vec{OB} are denoted by \vec{a} and \vec{b} respectively, we are to express the vector \vec{OP} in terms of \vec{a} and \vec{b} .

When we set

$$\begin{aligned} AP : PN &= s : (1-s) & (0 < s < 1) \\ BP : PM &= t : (1-t) & (0 < t < 1), \end{aligned}$$

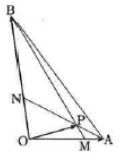
we have

$$\vec{OP} = \left(\frac{A}{C} - s \right) \vec{a} + \frac{B}{C} s \vec{b}$$

<日本語>

III

三角形 OAB を考える。辺 OA を 3 : 1 に内分する点を M、辺 OB を 1 : 2 に内分する点を N とし、線分 AN と線分 BM の交点を P とする。



(1) ベクトル \vec{OA} 、 \vec{OB} をそれぞれ \vec{a} 、 \vec{b} とおくと、ベクトル \vec{OP} を \vec{a} 、 \vec{b} で表すことを考える。

$$\begin{aligned} AP : PN &= s : (1-s) & (0 < s < 1) \\ BP : PM &= t : (1-t) & (0 < t < 1) \end{aligned}$$

とおくと

$$\begin{aligned} \vec{OP} &= \left(\frac{A}{C} - s \right) \vec{a} + \frac{B}{C} s \vec{b} \\ &= \frac{D}{E} t \vec{a} + \left(\frac{F}{E} - t \right) \vec{b} \end{aligned}$$

日本語で数学を習った人[英語で数学を習った人]でも、英語[日本語]ではどのように聞かれるのか、について毎回しっかりおさえられます

受講をお考えの方へ（お問合せ先）

コース説明会を対面orオンラインにて実施中！

こちらからお申込みください。（QRコード→）

※帰国生対策は各科目の習熟度など個人差があるため、すべて1：1で対応させていただいています。

